

提携先	(農)マルツボ加工センター	記入日	2008/8/28
登録消費材名	干しいも		

．これまでに努力してきたことや、生産条件の限界性など

<ul style="list-style-type: none"> ・当センターの天日干し基準を70%（日数割5日間）以上としている。 ・一次加工が自然加工品のため、各生産者において天日干しまで処理し、集荷する方式をとっている。 ・自然条件や生産者間におけるバラつき防止が課題。 ・生産者栽培指導を進め、慣行栽培に対し、農薬散布回数を5割減、化学肥料（窒素）5割減の特別栽培を進めている。また、生産者には栽培管理表を提出していただき、栽培確認を進めている。 ・悪天候が続いたり、気温が暖かすぎると品質劣化、腐敗等が発生するため、天候に左右されやすい製品である。
--

．前年に努力したことへの評価(成果や課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・100%天日干しを目指しているが、天候条件により100%には達せなかった。 ・技術及び品質の向上を目標としたが、天候による品質劣化・腐敗が多く、生産率が低下したため、今後天候に左右されず品質向上を目指し、生産量を安定していきたい。 ・クレームゼロを目標としたが、達成できなかった。

．上記の成果や課題につながる今年度の努力目標、または今年度の新たな努力目標

<ul style="list-style-type: none"> ・例年100%天日干しを目標としてきたが、天候により左右され品質劣化・腐敗が多いため、今後品質劣化・腐敗防止及び生産率を安定させるため、乾燥機の導入を検討していく。 ・今年度もクレームゼロを目標とする。
--

提携先	(農)マルツボ加工センター	記入日	2008/8/28
登録消費材名	かぼちゃのマッシュ		

．これまでに努力してきたことや、生産条件の限界性など

- ・環境配慮の視点から、一部の育苗を除いて、完全な露地栽培を進めている。
- ・加工工程で発生する残菜を堆肥センターとの連携で堆肥化し、農地リサイクルを実現した。
- ・生産者栽培指導を進め、慣行栽培に対し、農薬散布回数 5 割減、化学肥料（窒素）5 割減の特別栽培を進めている。

．前年に努力したことへの評価(成果や課題)

- ・農薬使用削減の努力を進めているが、圃場により害虫等の発生等があったため、削減できた圃場とできなかった圃場とがあった。
- ・品質向上については、天候条件が良くなかったため、良品とはならなかった。

．上記の成果や課題につながる今年度の努力目標、または今年度の新たな努力目標

- ・今年度も農薬の削減を努力していく。
- ・品質及び生産量の安定に努めていく。